慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介（掲載順）編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福澤研究センター
Publication year	2004
Jtitle	近代日本研究 No.21 (2004.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20040000-0326

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

舩木恵子	武蔵大学総合研究所研究員
住田孝太郎	東京都立大学大学院修士課程
西沢直子	慶應義塾福沢研究センター所員
高木不二	大妻女子大学短期大学部教授
前坊洋	東北公益文科大学助教授
渡辺俊一	福沢諭吉協会会員
小川原正道	武蔵野短期大学助教授
内山秀夫	慶應義塾大学名誉教授

編集後記

本センターの研究紀要『近代日本研究』は一九八五年に創刊されて以来、福沢諭吉を中心とする近代日本研究発表の場として、広く内外の研究者の論考を掲載してきたが、本巻（第二十一巻）の刊行を契機に、編集体制を整備し、「特集」を組んだり、査読に基づく一般投稿論文の掲載を拡充するなど、新しい試みをすることになった。また、これまで『福沢諭吉年鑑』（福沢諭吉協会刊）に掲載されてきた福沢書簡等の新収資料も、同協会と相談の結果、今回から本誌に掲載することになり、誌面は一層バラエティーに富むことになった。

本巻は、この四月に没後百年を迎える小幡篤次郎を特集した。福沢の補佐役として、また学者として多くの業績を残し、かつては義塾内で最も尊崇された小幡をこの機会に再評価する必要があるのではないかと考えたからである。一般投稿論文は査読の結果、五編の掲載が認められた。いずれ劣らぬ力作だが、今後も優れた論文が投稿されることを期待したい。

なお、今回より、論文掲載にあたって旧字体を新字体にあらためた。また、巻末には、本誌第十一巻～第二十巻迄の総目次を附した。読者に役立つところがあれば幸いである。